

CASBEE[®] - 建築(新築)

評価結果

■ 使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2014年版 | 使用評価ソフト: osk_CASBEE-BD_NC_2014(v.3.01)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)日本ルツボ大阪倉庫	階数	地上2F
建設地	東大阪市稲田新町3丁目924番2の	構造	S造
用途地域	工業地域、防火指定なし(法22条地)	平均居住人員	30人
地域区分	5地域	年間使用時間	2,920時間/年
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2017年3月 予定	評価の実施日	2016年8月25日
敷地面積	6,650 m ²	作成者	立野真治
建築面積	3,498 m ²	確認日	2016年8月25日
延床面積	3,936 m ²	確認者	立野真治



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 0.8 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安を示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.5

Q1 室内環境

Q1のスコア = 0.0

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.2

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.1

LR のスコア = 3.0

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.0

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.2

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 2.9

3 設計上の配慮事項		その他
総合 計画地は大正時代より窯業系工場として操業しています。現況、平屋、2階建ての工場、倉庫が立ち並んでいるが、従前の建物と変わらないよう、形態、建物高さなど配慮しています。又、周囲の住宅にも配慮した計画としております。		根切り土は極力場外搬出を控え、搬入出土の量を抑えることにより、環境に配慮する。
Q1 室内環境 注) 「Q1 室内環境」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。倉庫用途における、荷物の運搬フォークリフトはバッテリー式の低騒音とした。外壁面はカラー鋼板にプラスチックボード2枚張りとし遮音性に配慮した。	Q2 サービス性能 事務所部分はOAフロアを採用、配管等は管理、更新制を考慮した設計としている。	Q3 室外環境(敷地内) 建物高さを約8.9mとし周辺のスカイラインとの調和を図った。接道側の緑化を多く計画するとともに、敷地緑化率11%の緑化を配置した。外壁色をアイボリー色とし周辺地域との調和を図った。
LR1 エネルギー 倉庫用途にてトップライト、ハイサイドライトを多く採用し太陽光の利用効率を図っている。又、ハイサイドライトは開閉できる対応を行い自然換気の利用を図っている。	LR2 資源・マテリアル 上水については節水型器具、節水コマを採用し、水資源の保護を図った。内装材は有害物質を含まない材料をもちい、化学物質の使用削減を図っている。	LR3 敷地外環境 住宅が立ち並ぶ南面に建物を配置し、運搬車の騒音低減の配慮を行っている。外壁仕上げはカラー鋼板だが、プラスチックボード2枚張りとし外部への内部騒音の低減を図っている。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

大阪府建築物環境配慮評価システム 2015年版

大阪府の重点評価(結果)

受付番号

H28-0085

Osakafu-新築・既存 2015V1.03

【建物概要】		建物名称	(仮称)日本ルツボ大阪倉庫					
		建設地	東大阪市稲田新町3丁目924番2の一部、924番5の一部、925番1の一部					
		用途/区分	工場					
【評価結果】	CASBEE 総合評価					B-		
	CO2削減					3		
	省エネ対策					3		
	みどり・ヒート アイランド対策					1		
再生可能エネルギー 利用施設の導入状況		太陽光発電	—	風力	—	地熱	—	
		太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—	
エネルギー消費量の報告						報告しない		
【評価項目】								
省エネルギー対策		① CO2削減						
		② 省エネ対策						
項目		評価内容				スコア	評価	
① CO2削減		CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価				3.1	3	
② 省 エ ネ 対 策	外皮性能	CASBEE「Q1-2. 1. 2」 のスコアによる評価		建物全体		3		
	建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価						
	自然エネルギーの利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価					4.0	
	設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価					3.0	
	効率的運用	CASBEE「LR1-4」のスコアによる評価					2.5	
	水資源保護	CASBEE「LR2-1」のスコアによる評価					3.4	
	エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。					報告する 報告しない	報告しない
みどり ヒートアイランド対策		③ みどり・ヒートアイランド対策						
項目		評価内容				スコア	評価	
生物環境の保全と創出		CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価				1.0	1	
敷地内温熱環境の向上		CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価				2.0		
温熱環境悪化の改善		CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価				1.0		
その他								
先進的技術の導入		技術の名称			考慮事項			
特に配慮した事項								